

新型コロナウイルス感染症拡大の状況における大学の対応について（上越教育大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

○ オンライン授業等を活用した授業運営(令和2年度)

「新型コロナウイルス感染症対策に係る授業運営に関する基本方針」を策定し、政府方針や文部科学省通知等を踏まえ、学生及び教職員の健康・安全面への配慮と、いわゆる「3密（密閉空間、密集場所、密接場面）」を回避して、学内でのクラスター感染を防止するため、令和2年度前期はオンライン授業を中心に授業運営を行った。なお、同感染症の予防対策を充実させたことにより、令和2年度後期からは原則対面授業を行った。加えて、講義室にオンライン授業用WEBカメラシステムを設置し、ティーチング・アシスタントによるオンライン授業支援を実施した。

○ 大学と附属学校が連携した教育実習代替プログラムの実施（令和2年度）

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年近隣公立小中学校で実施している学部の初等教育実習及び中等教育実習の通常実施が困難となったことにより、教育実習の特例に関する通知に基づき、一部代替プログラム（学内プログラム）を実施した。同プログラムにおいては、附属学校に整備されたICT機器を活用し、学生が大学からオンラインにより、両校の児童・生徒に授業を行うなど、附属学校と連携したプログラムを実施した。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

○ オンライン授業への支援（令和2年度）

学生への経済的支援として、オンライン授業の受講に必要となるモバイルルーター（回線契約含む）25台及びWebカメラ・ヘッドセット230個を購入して希望者へ貸与し、オンライン授業の環境構築を行った。

○ 学生の就職指導（令和2年度）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための大学施設立入禁止の期間においては、学生の就職に関する指導・支援を行うプレイスメントプラザのキャリアコーディネーターが電話又はメールにより学生の就職相談等に対応した。

○ 附属図書館の環境整備（令和2年度）

オンライン授業や自主学習に活用するため、既設の入館認証ゲートに加えて退館認証ゲートを新たに設置した。このことにより、個人の入退館履歴の把握と利用者の人数制限を可能にして、3密を回避する方策をとった。

○ 上越教育大学くびきの奨学金（本学独自の給付型奨学金）（令和2年度）

新型コロナウイルス感染拡大の影響によるアルバイトの自粛や停止等に伴い、生活が苦しくなり経済的に困窮している学生に対して、上越教育大学くびきの奨学金に緊急学生支援金制度を創設し、一人当たり5万円の緊急給付を28人（学部8人、大学院20人）に対して行った。

○ 学生応援200円ランチの提供（令和2及び3年度）

新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けている学生等に対し、食事を通じた学生への経済支援と健康管理に資するために、学内で実施した「新型コロナウイルス感染症対策学生支援募金」で集まった募金や上越教育大学振興協力会（地域企業・住民による応援団）の支援金を元に、本学食堂において「学生応援200円ランチ」を提供した。

○ 安全安心手帳の作成・配付（令和3年度）

安全安心手帳に新型コロナウイルス感染症の症状や対応について掲載し、令和3年度版学生手帳とともに配付した。